

平成 30 年 2 月 16 日  
小 城 市  
西日本高速道路株式会社

報 道 関 係 各 位

## E34 長崎自動車道『小城スマートインターチェンジ』が 平成 30 年 3 月 31 日(土)に開通します

小城市及びNEXCO西日本九州支社が建設を進めてまいりました、E34 長崎自動車道『小城スマートインターチェンジ(IC)』が開通します。

### 1. 開通日時

平成 30 年 3 月 31 日(土) 16:00

### 2. 小城スマートICの概要

#### 設置場所

[上り]佐賀県小城市小城町松尾(E34 長崎自動車道 佐賀大和IC～多久IC間 小城パーキングエリア(PA))

[下り]佐賀県小城市小城町松尾(E34 長崎自動車道 佐賀大和IC～多久IC間 小城PA)

※スマートICへのアクセス道路:[上り、下り]主要地方道小城富士線

※E34 長崎自動車道の佐賀大和IC～多久IC間は 15.1kmとなっていました、小城スマートICの開通により、佐賀大和IC～小城スマートIC間が 6.8km、小城スマートIC～多久IC間が 8.3kmとなり、高速道路が使いやすくなります。

#### 【事業概要】

事業主体:小城市及びNEXCO西日本

利用時間:24 時間利用可能

出入方向:全方向利用可能

対象車種:ETC搭載の全車種

※ただし、車長 12mを超える車両は除く

### 3. 事業の経緯

|                  |                                                                   |
|------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 平成 23 年 3 月 25 日 | 小城スマートインターチェンジ(仮称)地区協議会設立                                         |
| 平成 24 年 3 月 5 日  | 小城スマートインターチェンジ(仮称)地区協議会から日本高速道路保有・債務返済機構及び西日本高速道路株式会社に対して実施計画書の提出 |
| 平成 24 年 4 月 3 日  | 小城市長から国土交通大臣に対して連結を申請                                             |
| 平成 24 年 4 月 17 日 | 国土交通大臣から小城市長に対し連結を許可                                              |
| 平成 24 年 5 月 17 日 | 工事着手                                                              |
| 平成 29 年 11 月 1 日 | 名称を小城スマートインターチェンジに決定                                              |

### 4. 期待される整備効果

期待される整備効果については、別紙のとおりです。

### 5. 利用上の注意点

- ・小城スマートICは、ETC専用です。必ずETCカードを車載器に挿入して通行してください。  
※ETC車載器を搭載していない車両が、誤ってスマートICに進入した場合は、バックをせず戻ることができるようになっており、より安全にご利用いただけます。
- ・小城スマートICでは、車両が停止した状態でなければ開閉バーが開きません。ETCゲートの前で必ず「一旦停止」し、バーが開いてから通行してください。
- ・小城スマートICは、近接する佐賀大和料金所にて管理しており、係員は常駐しておりません。ご利用の際、ご不明な点がございましたら、インターホン等をご利用の上、お申し出ください。係員にてご案内させていただきます。
- ・小城スマートIC上り線の流入時及び下り線の流出時は、小城PAのトイレ等をご利用になれません。

### 6. 通行料金

小城スマートIC⇄各IC間の主な区間の料金(通常料金)

(距離:km、料金:円)

| IC名  | 距離    | 軽自動車等 | 普通車   | 中型車   | 大型車    | 特大車    |
|------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 福岡   | 61.1  | 1,460 | 1,790 | 2,110 | 2,840  | 4,630  |
| 太宰府  | 49.4  | 1,210 | 1,470 | 1,740 | 2,330  | 3,770  |
| 鳥栖   | 32.2  | 850   | 1,020 | 1,190 | 1,570  | 2,510  |
| 熊本   | 108.6 | 2,420 | 2,990 | 3,560 | 4,830  | 7,940  |
| 鹿児島  | 283.5 | 5,090 | 6,320 | 7,560 | 10,300 | 17,100 |
| 宮崎   | 294.2 | 5,280 | 6,560 | 7,840 | 10,700 | 17,700 |
| 佐賀大和 | 6.8   | 310   | 340   | 380   | 460    | 660    |
| 東脊振  | 18.6  | 560   | 660   | 750   | 980    | 1,520  |
| 大村   | 58.5  | 1,410 | 1,720 | 2,030 | 2,730  | 4,440  |
| 諫早   | 70.6  | 1,660 | 2,040 | 2,410 | 3,260  | 5,320  |
| 長崎   | 86.8  | 2,010 | 2,470 | 2,930 | 3,970  | 6,500  |
| 大分   | 160.1 | 3,250 | 4,020 | 4,790 | 6,520  | 10,700 |

※割引適用条件を満たすことによりETC割引などの各種割引の適用があります。

# (1) 地域振興面からの整備効果

別紙

## ① 企業誘致の支援

- 小城スマートICの整備により、高速道路へのアクセス性が向上し、企業誘致を支援することで、雇用の創出、工業振興が期待されます。
- 高速道路へのアクセス性は企業進出時の重要な要件であり、進出検討企業からは、小城スマートICの動向について問い合わせが多く、関心の高さが伺えます。



▲小城スマートIC整備に伴う  
小城岩蔵工業団地の高速ICアクセス性の変化

### ＜小城岩蔵工業団地に進出を決定した企業の声＞

- 飲料メーカーとして、名水百選の水源地に近いというイメージ戦略メリットがあり、岩蔵工業団地への進出を決定。
- 製造品の出荷には高速道路（佐賀大和IC、多久IC）を利用しており、小城スマートICが整備されることにより、高速アクセス性が向上し、時間短縮効果が期待出来る。



▲ 小城岩蔵工業団地  
(区画面積：約25,000m<sup>2</sup>)

## ② 物流効率化の支援

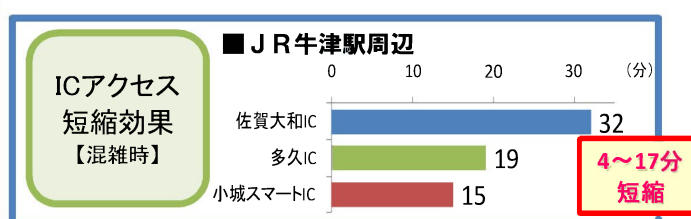
- 佐賀大和IC、多久ICへのアクセス道路である国道34号、203号、(主)佐賀外環状線では、渋滞が著しく走行性が低下しています。
- そのため、到着時間遅れが発生し、円滑な物流が阻害されています。
- 小城スマートICの整備により、渋滞の著しい国道34号等を回避することが可能となり、定時性の確保など、物流の効率化が期待されます。



▲小城スマートIC整備に伴う物流効率化の支援  
(JR牛津駅周辺～佐賀大和IC間)

### ＜物流事業者の声＞

- 佐賀大和ICへのアクセス道路では、**夕方の渋滞が著しく、新門司港から出発するフェリーに間に合わない**ことがよくある。
- 小城市内の朝の渋滞の影響で、**到着遅れが発生**している。
- 小城スマートICを利用することにより、**物流コスト削減**が期待される。





### ③観光振興の支援

- 小城市では、観光地の魅力度を向上し、観光客増加を図るため、清水の滝周辺環境整備事業(大型バス駐車場整備等)、中心市街地活性化推進事業を実施しています。
- 小城スマートICの整備により、高速道路へのアクセス性が向上するため、広域的な交流が活発化し、観光客増加が期待されます。
- また、小城市内での滞在時間が増加し、小城市の観光振興が期待されます。

#### ▼小城スマートICから小城観光地までの距離



▲清水の滝



▲須賀神社



▲羊羹資料館



▲牛尾神社及び周辺の牛尾梅林  
※【写真】出典は全て小城市観光協会HP



▲有明海(干潟体験場)



▲小城公園



## (2) 地域防災面からの整備効果

- 佐賀平野に位置する小城市では、集中豪雨による浸水被害が頻発しており、また、概ね100年に1回程度起こる大雨により、国道203号、(主)佐賀外環状線では冠水被害が予測されます。
- 「佐賀平野大規模浸水危機管理計画」では、広域応援・緊急輸送路ネットワーク施策のひとつに「SA・PAでの接続ポイント」を位置づけられています。
- 小城スマートICの整備により、浸水被害時の緊急輸送ルートの確保が可能となり、地域の安全性確保が期待されます。



▲浸水被害時の緊急輸送ルート

資料：小城市洪水ハザードマップ

### ▼災害時の応援協力体制

| 協定書等種別                             | 協定先            |
|------------------------------------|----------------|
| 佐賀県常備消防相互応援協定書<br>(火災・救急・救助・その他災害) | 佐賀県下の消防本部（5本部） |

資料：佐賀広域消防局「平成29年版消防年報」



出典：佐賀平野大規模浸水危機管理計画

### ▼災害時の医療活動体制

|            | 病院名               | 所在地 |
|------------|-------------------|-----|
| 基幹災害医療センター | 佐賀県立病院好生館         | 佐賀市 |
|            | 国立大学法人佐賀大学医学部附属病院 | 佐賀市 |
| 地域災害医療センター | 多久市立病院            | 多久市 |
|            | やよいがおか鹿毛病院        | 鳥栖市 |
|            | 唐津赤十字病院           | 唐津市 |
|            | 有田共立病院            | 有田町 |
|            | 白石共立病院            | 白石町 |

資料：佐賀県地域防災計画

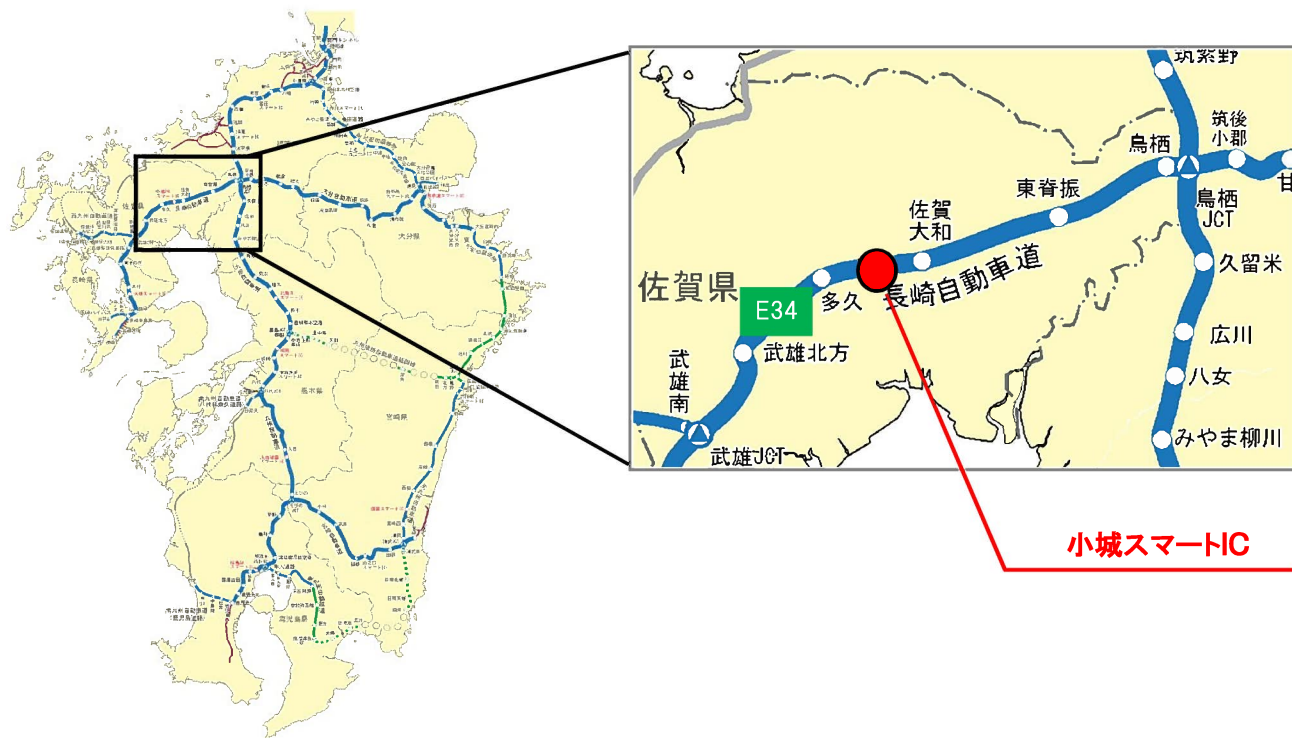
## (3) 救急救命活動面からの整備効果

- 小城市には、第二次救急医療施設である小城市民病院、ひらまつ病院が立地しています。
- 小城市西側に位置する多久市には、第二次救急施設が多久市立病院しかないため、多久市方面から小城市民病院への救急搬送者が増加しています。
- 小城スマートICの整備により、救急搬送時間が短縮し、多久市民の安全・安心な生活を支援することが期待されます。

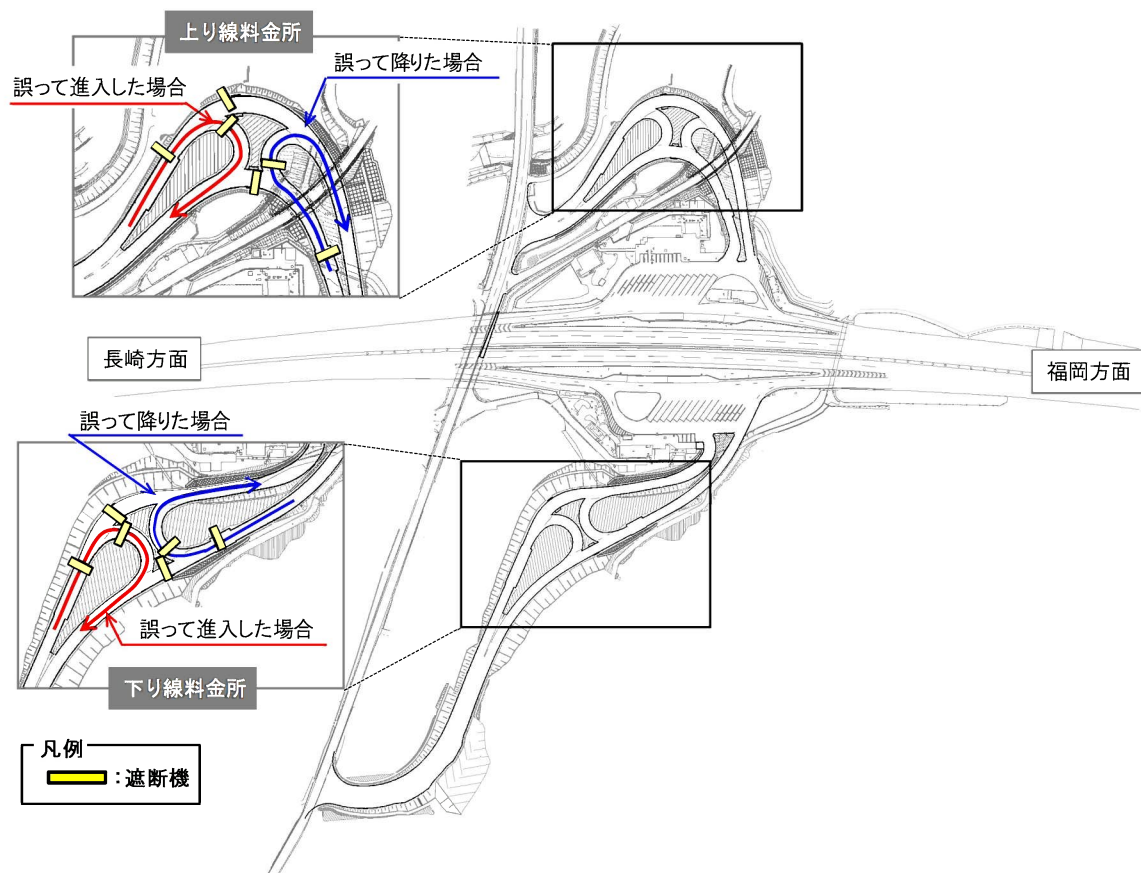


▲小城スマートIC整備に伴う多久市方面から小城市への救急搬送ルートの変化予想

位置図



平面図





完成イメージ図

■小城スマートIC(上り線)



■小城スマートIC(下り線)

